

杉 外装羽目板の特徴について

サイズ 3970x130x14

入数 7枚(3.61㎡)入り

設計価格 各塗装品 ¥25,000 税別
(6色有り)

無塗装 ¥21,000 税別



グリーン色



グレー色

古来より高温多湿な日本の住宅に適した外装として、無垢の杉板が多く使われて来ました。
杉外装羽目板は、厚み14mm国産杉の表面に塗装したもので、和風から洋風まで表現できる外装材です。

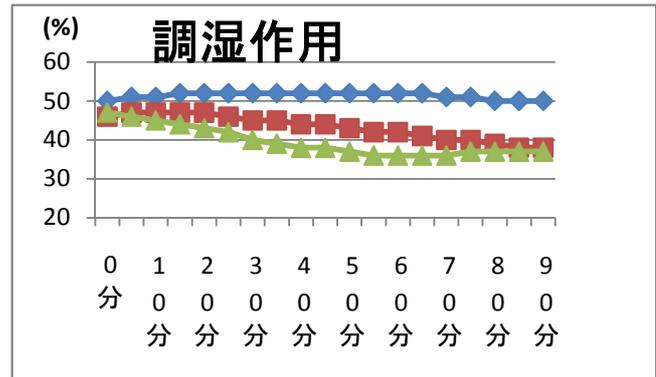
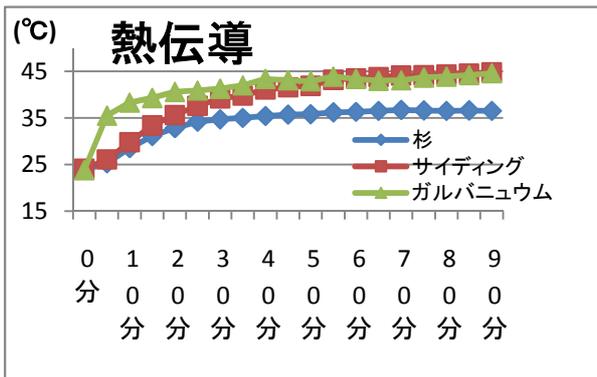
長所

- ① 表面に浮造り加工を施した上から木材保護塗装している為、耐久性がよくなります。
- ② 木材特有の調湿効果があります。
雨に濡れると板の幅が伸びて気密が良くなります。
板が乾燥すれば通気が良くなる上に、杉板その物が湿気を吸収し、壁側の結露を減らします。
- ③ 重量が軽い為に、躯体にかかる負荷が少ない。
- ④ 杉の中に空気層がある為に、熱伝導率が低く断熱効果が高い。
- ⑤ 夏場に触れても熱くない。窯業系やガルバニウムメッキのサイディングでは触れると熱く、輻射熱により近くにいるだけでも熱く感じる。
- ⑥ メンテナンス（上塗り）や張替が容易。
- ⑦ 環境にやさしく（炭素の固定）、癒し効果が高い。

短所

- ① 自然素材の為に材質が不均一であり、軽微な表面割れ及び木目や色彩のバラツキがあります。
- ② 木材の風合いを活かす為に、耐久性の高い塗装ができない。
- ③ 立地条件や建築様式、又は気象により差はありますが、色彩の変化（退色）が occurs。
- ④ 外部的要因である経年変化により、割れや変形することがあります。
- ⑤ 木材特有の灰汁が雨水により出る事があります。
- ⑥ 燃えやすい。使用地域が限定されます。

経年変化等により様変わりしても、上記の長所については持続しますので自然素材の風合いを味わって頂ければ幸いです。



素材の熱伝導を比較すると90分後には、杉は窯業サイディングとガルバニウム鋼板に比べ8度も低く湿度については、窯業系サイディングとガルバニウム鋼板が乾燥化しても、杉は安定しています。杉が断熱効果や調湿効果にすぐれ、冷暖房費の削減(エコ)になる事が弊社試験の結果で分かりました。

中本造林株式会社

広島県廿日市市栗栖508番地
TEL0829-72-0222 fax0829-72-1637
<http://www.nakamotozourin.co.jp>